

たつの市民病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年10月 策定
平成30年11月 修正

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・ 救急搬送要請の多い内科系疾患に対応するため、休日・夜間を含めた内科の救急患者受入体制を維持するとともに、高齢化に伴って増加する骨折等の運動器疾患を中心とした整形外科領域の救急医療に対応する。
- ・ 回復期リハビリテーション病棟において集中的なリハビリテーションを提供することにより、速やかな機能回復を図り、早期の在宅復帰を支援する。
- ・ 24時間体制の訪問看護ステーションと連携し、入院医療から訪問診療に至る一連の医療サービスを切れ目なく提供し、地域包括ケアシステムの一翼を担う。

② 今後持つべき病床機能

- ・ 常勤の呼吸器内科医が勤務していることから、人工呼吸管理が必要な高度急性期患者の受入体制を整備する。

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	4
急性期	60		56
回復期	60		60
慢性期			
(合計)	120		120

< (病棟機能の変更がある場合) 具体的な方針及び整備計画 >
(整備計画)

- ・ 病棟機能の変更理由
急性期病床から回復期病床への転換を推進し、回復期機能を強化する。
人工呼吸管理が必要な高度急性期患者の受入体制を整備する。
- ・ 病棟の改修・新築の要否
否
(具体的な方針)
- ・ 4階病棟のうち20床を急性期から回復期に変更する。
- ・ 3階及び4階病棟のうち4床を急性期から高度急性期に変更する。

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	○病床機能転換の検討	○急性期20床を回復期に変更	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block; transform: rotate(-90deg); transform-origin: center;"> 集中的な検討を促進 2年間程度で </div>
2018年度	○高度専門医療の提供に必要な医療機器の整備	○急性期4床を高度急性期に変更	
2019～2020年度			<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block; transform: rotate(-90deg); transform-origin: center;"> 第7期 介護保険 事業計画 </div>
2021～2023年度			<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block; transform: rotate(-90deg); transform-origin: center;"> 第8期 介護保険 事業計画 </div>

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率： ・ 手術室稼働率： ・ 紹介率： ・ 逆紹介率 <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率： ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合： <p>その他：</p>
--

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

--